



ペワッグチェーンスリング使用上のご注意



使用上の注意

ペワッグチェーンスリングを使用する際は以下の項目を確認してください。

はじめに

ペワッグの吊り金具は多彩なデザインをそなえ、吊り荷や目的により選択できるようにラインナップしております。このカタログに記載されているチェーン、チェーンスリング、付属金具の仕様は標準の玉掛け作業を前提としています。玉掛け作業は資格のある作業者によって行ってください。また使用方法等でご不明な点があれば当社までご相談ください。正しい使用方法で作業していただければ、チェーンスリング自体の寿命も伸び、作業者や吊り荷の損傷事故の防止につながります。そのためにも、この使用上のご注意をご理解の上、正しい使用をお願いいたします。

使用上の制限

- ウィナーチェーンスリングの構成を変更する場合は、必ずペワッグ社の部品をご使用ください。他社製品との組合せは保証いたしかねます。
- ウィナーチェーンスリングは、曲げ・孔あけ・研磨・溶接などの加工をしないでください。
- 高温での使用（ウィナーでは200度以上）は避けてください。
- 安全ラッチ、安全ピン、止め金具などの安全金具は取り外さないでください。
- 表面には亜鉛メッキ、電気メッキなどを施さないでください。
- 薬品による浸蝕は避けてください。

危険な使用、危険状態の制限

温度

- 高温での使用は荷重の減少につながります。200度以内での使用を守ってください。
- 使用する温度環境によって金具の色が変わります。

酸性、腐食剤、化学品

- ウィナーチェーンスリングは酸性液に浸けたり、腐食剤を含んだ室内および高温や化学薬品の充満するような環境下での使用は避けてください。

使用荷重

- このカタログにおける使用荷重、および荷重容量はチェーンスリングに偏心や片吊りのない均等の荷重がかかる状態での数値です。
- 荷重が均等にかからない場合や、角が当る吊り荷の場合、鋭角な部分のチェーンの荷重は減少するので資格・知識をもった玉掛け作業員が荷重の設定をしてください。

始業点検

チェーンスリングを使用する前に以下の項目を確認してください。

- ① チェーンスリングが使用目的にあっているか。
- ② 特殊な使用時でチェーン、金具の特性が使用目的に合致しているか。
- ③ スリングチェーンの取り扱い説明書が整備され、作業者が熟読・理解しているか。
- ④ チェーンが絡まったり、吊り荷に当たっていないか。

使用前に目視による損傷や磨耗の検査を行い、疑いがある場合は資格・知識のある人が検査を行ってください。

目視による廃棄基準

- ① 破断している部分
- ② チェーン刻印の摩耗による消滅
- ③ 吊状態でチェーン、金具に変形が認められる
- ④ チェーンの伸びが5%以上ある場合

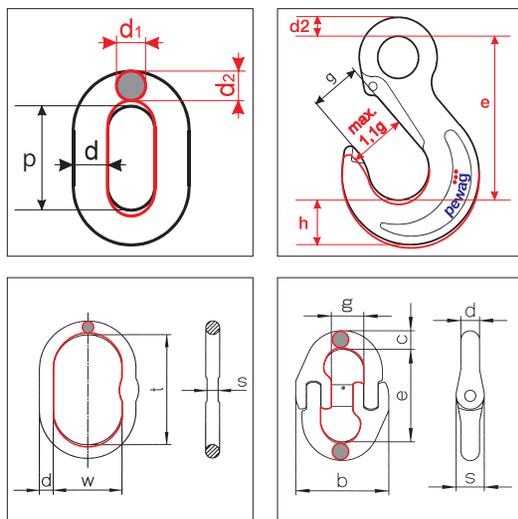
ペワッグチェーンスリング使用上のご注意



定期点検

高温や腐食性の液体に浸かるなどしたチェーンは、専門家の検査を行ってください。
2年ごとに1.5倍の荷重テストをお勧めします。また目視検査や溶剤による亀裂検査を定期的に行い事故の防止に努めてください。

廃棄基準



名称	記号	許容基準
チェーン	d	-10%
	p	+5%
マスターリンク	d	-10%
	t	+10%
フック	e	+5%
	d2,h	-10%
	g	+10%
カップリンク	カラー脱落	使用不可
	e	+5%
	c	-10%

- 切断、亀裂、キズ、腐食、熱による変色、溶接痕、曲り、ねじれ、ひび割れ
- フックの開口部の広がりが基準の10%を超えるもの。曲がって安全レバーがかからないもの。

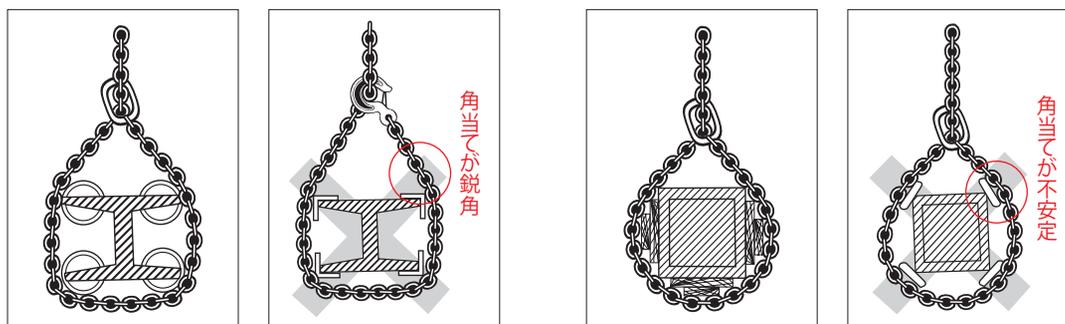
保管

ウィナーチェーンは清潔で乾燥した状態で保管してください。また適度の油を塗布してください。

チェーンスリングの正しい使用方法

吊り角度

吊り角度はプレートに記載されていますので、規定以内で使用ください。(荷重表の吊り角度 α 参照)
偏心は危険ですので、角度は均等になるようにしてください。
120度を越えた角度では使用しないでください。



角当りとチェーンの保護

ウィナーチェーンはチェーンが荷重のかかる吊り荷の下部で直線に引っ張ることを前提に設定されています。
図を参考にチェーンが荷重を均等に受けるよう、保護材等を使用してください。保護材がない場合は使用荷重が減少します。

衝撃

ペワッグチェーンスリングの使用荷重は衝撃がない状態で設定されています。衝撃の度合いにより荷重が減少します。